

## 「輝き あんしん プラチナ社会」の実現にむけて ～公共工事の品質確保と入札契約制度の適正化～

### 1. はじめに

山梨県では、すべての県民が明るく希望に満ち、安心して暮らせる「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向け、県政運営の基本指針となる「ダイナミックやまなし総合計画」に基づき、県政各般にわたる施策・事業を積極的に展開し、特に本年は、各施策の実行を加速して成果をあげる年に位置づけています。

本計画は、東京オリンピック・パラリンピックに向けて拡大する様々な需要を積極的に取り込むとともに、平成39年（2027）にリニア中央新幹線の東京・名古屋間が開業することにより、東京圏、中京圏、大阪圏との大幅な時間短縮によって飛躍的に高まる有利性を最大限に生かした、地域社会づくりを進めていくものであります。また、その恩恵を全県で享受できるよう、リニア駅周辺の整備や中部横断自動車道、新山梨環状道路などの利便性の高い交通網の整備を進めています。

### 2. 担い手確保への取組み

地域社会づくりのうち、社会基盤整備にあたっては、公共工事の品質確保と建設産業の持続的な発展が重要であります。本県の地域を支える建設産業の取り巻く状況は、近年の公共事業予算の確保の厳しさに相まって、その就労環境も年々、

厳しさが増しています。特に、建設労働者の高齢化や若年入職者の減少などの問題が顕在化してきており、その対策は喫緊の課題となっています。

本県では「改正品確法」を始めとする、担い手3法に沿った取組みを行い、公共工事の品質を将来にわたって確保するために必要な人材の中長期的な育成及び確保を鋭意進めています。

具体的には、債務負担行為や繰越制度（6月明許）を活用し、年度内の工事の偏りを解消し年間を通じて工事量を安定させる施工時期の平準化や適正工期の確保に取り組んでいます。

また、本年5月に本県と関東地方整備局は、これまで個別に公表していた工事の発注見通しに加えて、地区ごとの統合版を公表しています。発注予定工事が地区単位で一括して確認できるようになることで、建設業者による人員配置や建設資機材の手配など、計画的な施工体制の確保に資するものと考えています。

さらに、建設労働者の処遇改善のため、完全週休2日制モデル工事を実施し、現状の課題や問題点を把握するとともに、建設現場に携わる人たちの労働環境に対する意識の改善を図り、その普及拡大にも取り組んでいます。

なお、発注者責務としての取組みを市町村にも広げるため、県内27市町村を対象とした「関東ブロック発注者協議会山梨県分科会」を設立し、

山梨県知事 後藤 ひとし



発注関係事務に関して意見交換を行っています。また、随時市町村からの相談を受け付けるとともに、総合評価落札方式の導入などについても支援を行っています。本年7月には、山梨県分科会として、ダンピング対策の徹底や社会保険等加入対策など具体的内容を盛り込んだ「担い手3法のさらなる浸透に向けた申し合わせ」を行い、連携強化を図ったところです。

### 3. 入札契約制度の適正化への取組み

本県の入札契約制度は、価値の高い調達の実現と建設業の健全な発達・担い手の確保を目標に掲げており、その対策として、公正な入札の実施、透明性の向上、総合評価の活用等に取り組んでいます。

具体的な取組みとして、適正な利潤を確保することを目的とした予定価格の適正な設定や低入札調査基準価格及び最低制限価格における直接工事費の算入率の改定や失格基準の改定を行い、ダンピング対策に取り組んでいます。

また、原則3千万円以上の全ての工事で、経済性を配慮しつつ価格以外の多様な要素も考慮し価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることを目的とした総合評価落札方式を実施しています。平成17年度から試行を開始し、平成22年度からは災害復旧等緊急を要するものを除く工

事でほぼ100%実施しています。

本年4月には、技術評価の優位性を高めることを目的として「山梨県建設工事総合評価活用ガイドライン」を改定し、公共工事のなご一層の品質向上を図っています。

### 4. おわりに

社会基盤の整備や維持管理、災害時の迅速な応急復旧など地域の安全・安心を確保するうえで、建設業の果たすべき役割はますます増大していますが、一方で、建設業の担い手不足が懸念されています。

こうした中、品確法の改正や働き方改革により、建設業の環境整備や担い手の確保に向けた取組みがなされてきています。

本県では、建設業の持続的な発展に必要な環境整備や人材確保に向け、受発注者が一体となって取り組むことにより、公共工事の品質確保に努めて参りたいと考えています。

最後になりますが、山梨県は日本のワイン生産の発祥地であり、近年では海外のコンクールで受賞を果たすなど、国外でも高い評価を受けています。本県で、11月に（一社）全日本建設技術協会主催の建設技術講習会が開催されますので、ぜひ参加していただき、山梨のワインを堪能してください。